



コロナが収束しない中で

掛川市内でのコロナ感染者が4月12日に累計で4000人を突破しました。2年余で約30人に1人が感染したということです。家族の方、濃厚接触となって自宅待機となった方など影響を受けた方はこの何倍もいます。一刻も早い収束を誰もが望んでいますが高止まりしたままの感染者数を見ているとそれがたやすいことではないのを感じます。

火災現場で思ったこと

上西郷の火災のあった集合住宅はもと「雇用促進住宅」という公営住宅だったところです。今民間に売却され民間アパート扱いですが、市営住宅に比べて入居条件が緩いため、外国の方や住居にお金がかけれない方々が多く入居しています。

私は、住宅政策の上で支援が必要な方々がスムーズに公営住宅に入れないことが問題だと指摘し続けています。保証人が必要。敷金がある。税金の滞納があったら入れない。(今年の2月定例会でやっと条例の改正があり、市営住宅の保証人規定が緩められました。一歩前進だと歓迎しています。)

火事の当日も、足が悪くて自力では臨時避難所に行けない方や、耳が聞こえづらく職員さんたちの指示がうまく伝わらない方、日本語がよくわからない外国の方などもいて、聞き取りをしながらうまく行政の支援にもつながるように私もお手伝いしました。

民間アパートで自治会のコミュニティからも外れていて、身寄りのない方などは不安だったと思います。

持ち家のない貯蓄ゼロ世帯、高齢者のみ世帯が広がる中、セーフティーネットとなる公営住宅が大切だと改めて思います。



元氣なりビングストーンデージー

ごみの減量化を本気で

落ち葉を燃やしていいの

堆肥化できるネットでの回収は何度か要望しましたが実現しません。



区長さんが無料のごみ袋をもらってきたくれたので、みんなで分けました。

今街路樹のクロガネモチなどの葉が落ちる時期で、排水が詰まれば大雨の時心配なこともあり、道に面したお宅では毎日のように必死で落ち葉を掃いています。

この落ち葉を燃やすしかないのか、なぜ堆肥化できないのか私は納得できません。

先日藤枝に行ったらごみの回収所に「生ごみ置き場」がありました。無料配布の生ごみ袋で別回収をして、バイオマス発電に回しているのだそうです。剪定枝なども別回収でした。

環境政策としてごみの減量化を進めるのがごみ処理の一番目の課題です。



ロシアのウクライナでの殺戮を止めさせよう

残虐化するロシアの武力侵攻を見ているとどうしても日本が行なった侵略戦争を思い起こしてしまいます。

戦争を始めれば勝つことが至上命令になる。どんなことをしても勝とうとする。相手を降参させるために手段を選ばなくなる。非人道性しかないのが戦争です。

国際世論でロシアを糾弾しきれぬかが問われています。国家が国民(よその国の国民も含め)を殺してはならない。